

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【公開番号】特開 2014-133409 (P2014-133409A)
 【公開日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-039
 【出願番号】特願 2013-251891 (P2013-251891)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

G 0 2 B 26/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 M

G 0 2 B 26/10 1 0 2

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 5 日 (2016.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 感光体と、第 2 感光体と、
 光を発する第 1 光源と、光を発する第 2 光源と、
複数の反射面を有し、前記第 1 光源と第 2 光源から発せられた光をそれぞれ偏向する回
転多面鏡と、
 前記第 1 光源から発せられ前記回転多面鏡で偏向された光を所定の位置で検出すること
 により第 1 信号を出力する第 1 信号出力手段と、
 前記第 1 信号に基づいて前記第 1 信号とは別の第 2 信号を出力する第 2 信号出力手段と
 、
 を有し、

プリントコマンドに基づき、前記第 1 光源は前記第 1 信号に基づくタイミングで光を発
し、前記第 1 光源から発せられた光は前記回転多面鏡に偏向されて前記第 1 感光体に照射
され、前記第 2 光源は前記第 2 信号に基づくタイミングで光を発し、前記第 2 光源から発
せられた光は前記回転多面鏡に偏向されて前記第 2 感光体に照射され、それぞれ前記第 1
感光体と前記第 2 感光体に潜像を形成し、前記潜像を現像剤で現像して前記第 1 感光体と
前記第 2 感光体に現像剤像を形成する画像形成装置において、

前記第 2 信号出力手段は、前記第 1 信号と前記回転多面鏡の各面ごとに設定された補正
値に基づくタイミングで前記第 2 信号を出力し、

前記プリントコマンドを受信した後であって、前記第 2 信号出力手段から前記第 2 信号
の出力が開始される前に、前記第 1 光源が前記第 1 信号に基づいて発光して前記第 1 感光
体への潜像の形成を開始することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

同じタイミングで前記第 1 光源から発せられた光と前記第 2 光源から発せられた光は、
 前記回転多面鏡の異なる面に入射し、それぞれ前記第 1 感光体と前記第 2 感光体を照射す
 ることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記第 1 感光体及び前記第 2 感光体と当接するベルトを有し、

前記ベルトの表面の移動方向に関して、前記第 1 感光体と前記ベルトとの当接部の方が前記第 2 感光体と前記ベルトとの当接部よりも上流側に配置されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記第 1 感光体と前記第 2 感光体の夫々に形成された第 1 現像剤像と第 2 現像剤像を前記ベルト上に重ねて転写することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記第 1 感光体と前記第 2 感光体の夫々に形成された第 1 現像剤像と第 2 現像剤像を、前記ベルト上を搬送される記録材に重ねて転写することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記補正值は前記第 1 信号を補正するための補正值であって、

前記第 2 信号出力手段は、前記補正值を前記回転多面鏡の各面ごとに導出し、前記補正值と前記第 1 信号に基づいて前記回転多面鏡の各面ごとに前記第 2 信号を生成して出力し、

前記第 2 信号出力手段が前記補正值を導出する工程を実行している期間に、前記第 1 光源が前記第 1 信号に基づいて発光して前記第 1 感光体への潜像の形成を開始することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記第 2 信号出力手段が、前記補正值を導出する工程は、前記第 1 信号の間隔に基づいて前記補正值を導出する工程を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 感光体に形成された潜像はイエローの現像剤で現像されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記第 1 感光体に形成された潜像はマゼンタの現像剤で現像されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

第 1 感光体と、第 2 感光体と、

光を発する第 1 光源と、光を発する第 2 光源と、

複数の反射面を有し、前記第 1 光源と第 2 光源から発せられた光をそれぞれ偏向する回転多面鏡と、

前記第 1 光源から発せられ前記回転多面鏡で偏向された光を所定の位置で検出することにより第 1 信号を出力する第 1 信号出力手段と、

前記第 1 信号に基づいて前記第 1 信号とは別の第 2 信号を出力する第 2 信号出力手段と、
を有し、

プリントコマンドに基づき、前記第 1 光源は前記第 1 信号に基づくタイミングで光を発し、前記第 1 光源から発せられた光は前記回転多面鏡に偏向されて前記第 1 感光体に照射され、前記第 2 光源は前記第 2 信号に基づくタイミングで光を発し、前記第 2 光源から発せられた光は前記回転多面鏡に偏向されて前記第 2 感光体に照射され、それぞれ前記第 1 感光体と前記第 2 感光体に潜像を形成し、前記潜像を現像剤で現像して前記第 1 感光体と

前記第 2 感光体に現像剤像を形成する画像形成装置において、

前記第 2 信号出力手段は、前記第 1 信号と前記回転多面鏡の各面ごとに設定された補正値に基づくタイミングで前記第 2 信号を出力し、

前記プリントコマンドを受信した後であって、前記第 2 信号出力手段から前記第 2 信号の出力が開始される前に、前記第 1 光源が前記第 1 信号に基づいて発光して前記第 1 感光体への潜像の形成を開始することを特徴とする。